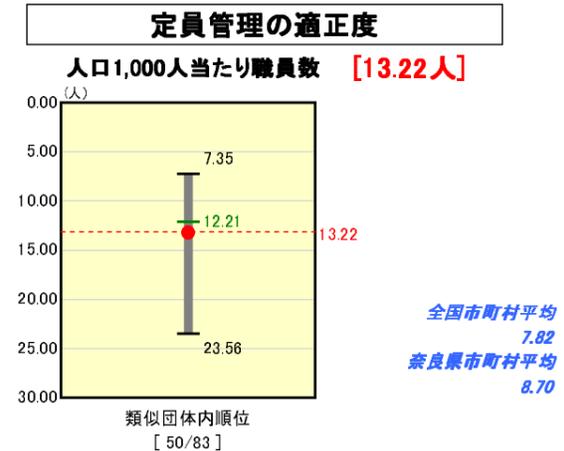
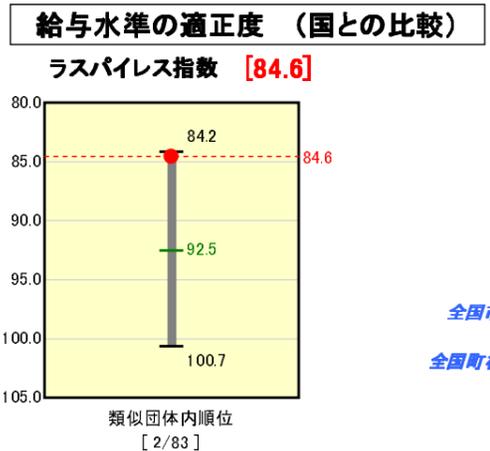
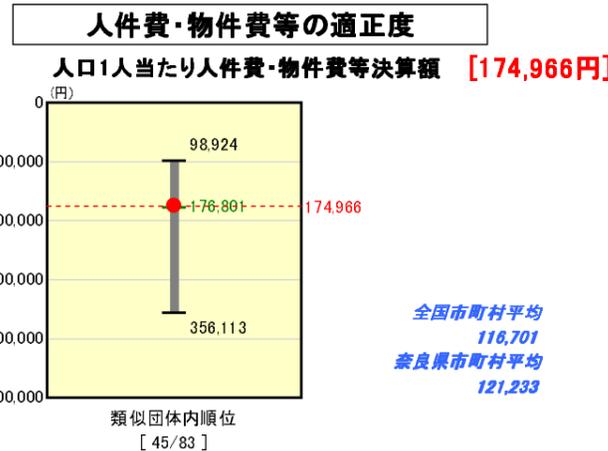
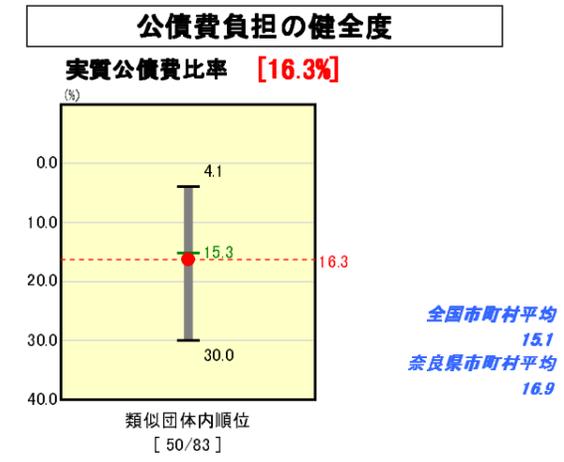
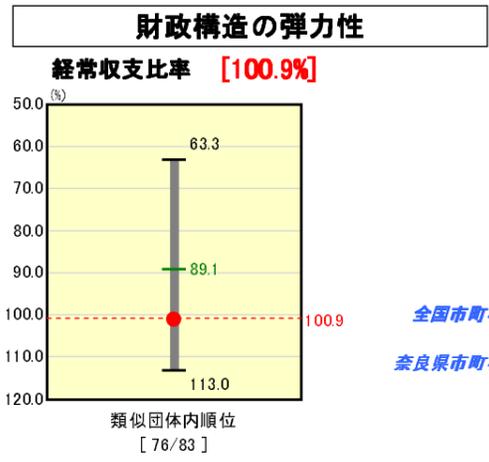
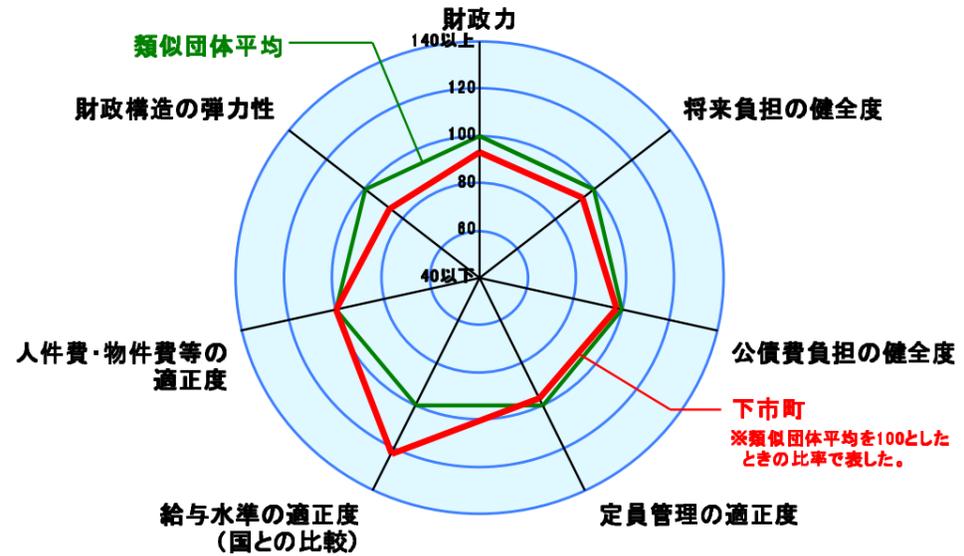
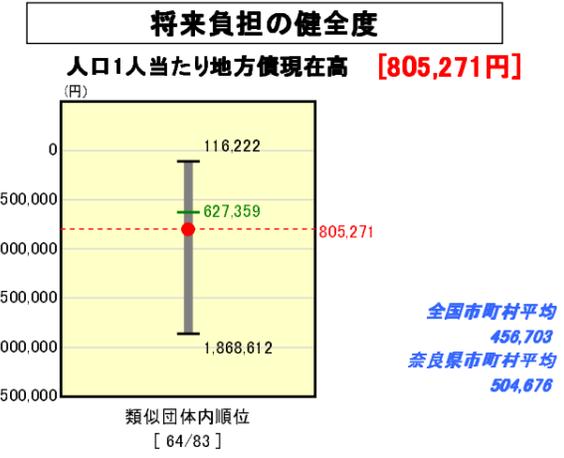
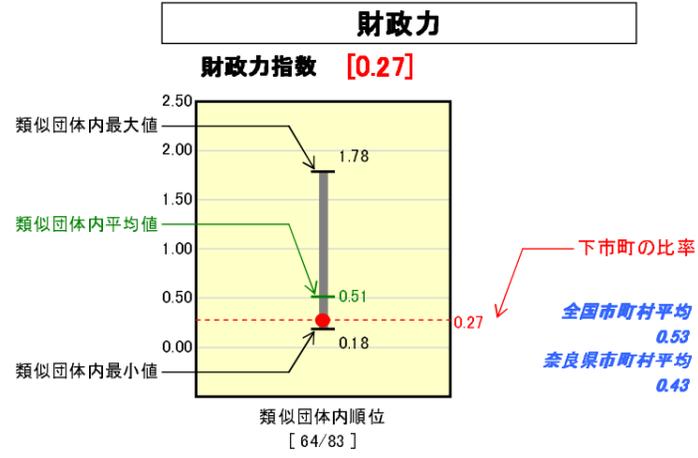


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 下市町

人口	7,639人	(H19.3.31現在)
面積	62.01	km ²
歳入総額	3,835,052	千円
歳出総額	3,639,728	千円
実質収支	194,907	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【経常収支比率】
人件費、物件費等を中心に経常経費の削減を行っているが、公債費の償還がピークを迎えており財政の硬直化の要因となっている。また、地方交付税(公債費を除く)、臨時財政対策債等の一般経常財源の大幅な減少により比率は年々悪化している。
今後、更なる行財政改革の推進を図り、計画的に県内の平均水準まで低下させたい。

【将来負担の健全化】
文教施設の整備等に関わる起債の償還がピークを迎えており、人口1人当たりの地方債現在高も高い状況となっているが、投資的事業については年々事業費の縮小を行っていることから地方債の発行額も減少しており、今後も計画的に低下させたい。

【定員管理の適正度】
CATV(難視聴対策)の運営など、山間部の地理的条件等により類似団体の水準を上回っている。行財政改革等の中でも今後数年間で類似団体の水準まで低下させる方針を立てており、計画的に進めていきたい。